

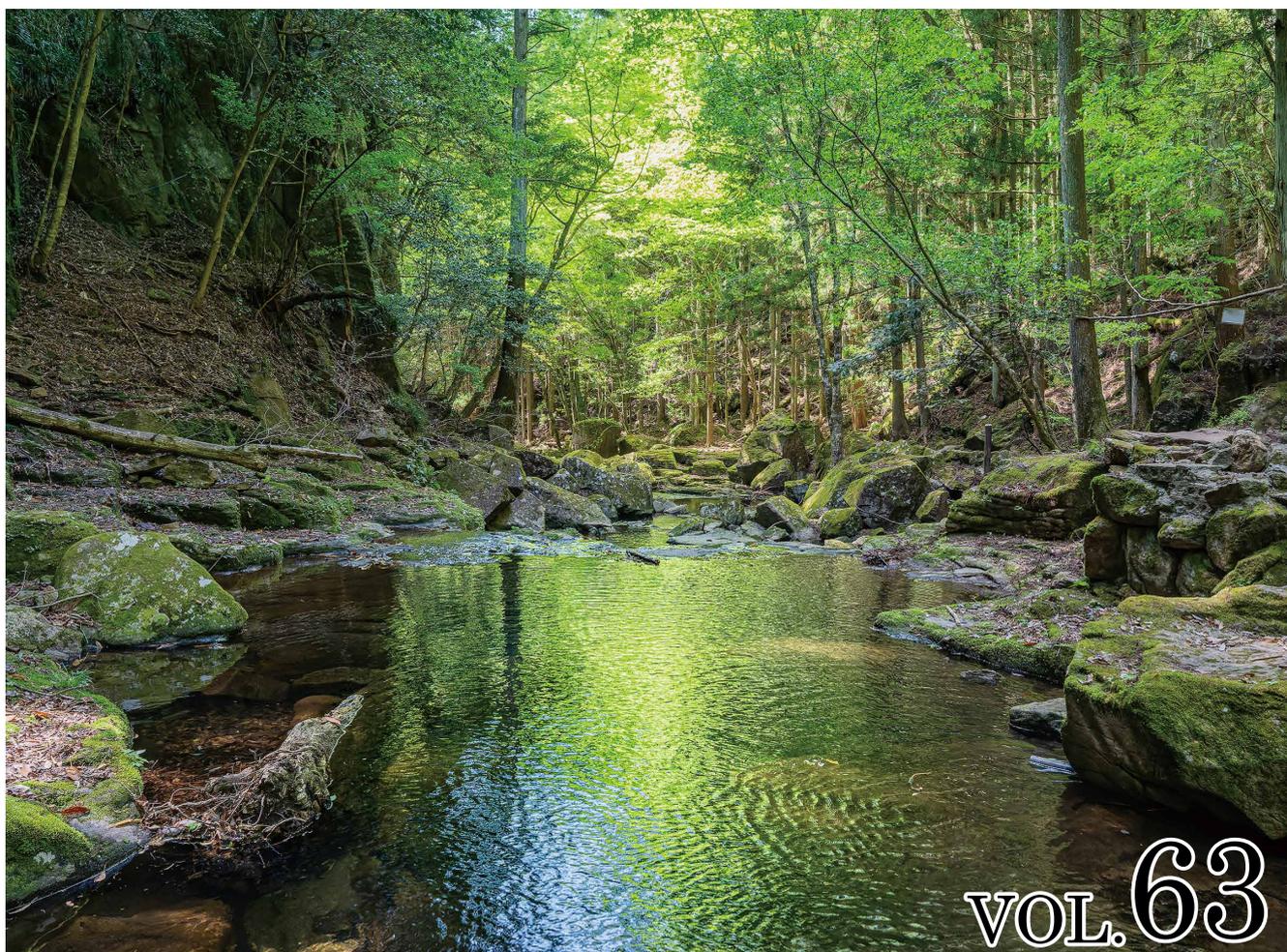
# 備風

BI

FU

2025・3月

岡山県環境整備事業協同組合



VOL.63

## 掲示板（事業活動）

### 令和6年度 第20回全国環境連全国大会

令和6年10月24日 東京都 ヒルトン東京お台場

東京都において、「マインドイノベーション！進化する循環型社会に向けた意識と行動」をテーマに、全国の一般廃棄物処理業者が一堂に会し、記念すべき第20回全国大会が開催された。

講演では、環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 課長の松崎裕司様に「廃棄物・資源循環行政の最近の動向について」をテーマに、また、2023 WBC 侍ジャパンヘッドコーチの白井一幸様に「侍ジャパンヘッドコーチに学ぶ人生の目的達成と最強のチームづくり」をテーマにお話しいただいた。

式典では、河野会長の式辞、優良役員・従業員表彰、政府に対する要望決議の発表、大会スローガン・大会宣言の発表、来賓祝辞、祝電披露と、滞りなく進行された。また、今回は20周年の記念事業として、株式会社 Ridilover 代表の阿部敏樹様をコーディネーターに迎え、河野会長、環境省、インドネシア・マカッサル市の担当者などが参加し、環境連が取り組んでいるインドネシアでの浄化槽普及事業についてパネルディスカッションを行った。

懇親会では、オリンピックでも採用されたブレイクダンスのオープニングアトラクションから始まり、歌舞伎舞踊などが披露され、和やかな雰囲気の中で全国各地の組合員との親睦を深める機会となった。そして、次回開催県となる岡山県から、牧理事長、岡井副理事長、中山副理事長が登壇し、牧理事長が次年度担当県として挨拶を行った。

（國米 智洋）



### 令和6年度 全国環境連青年部研修会

令和6年11月19日 福岡市博多（八仙閣）

2024年11月19日、全国環境連青年部研修会が福岡市博多区の八仙閣にて開催されました。

本研修会は、全国環境連の設立20周年を記念し、協賛企業様によるプレゼンテーションを特別企画として実施。今年のテーマは「進化する我々が使えるツール」とし、業界の変化に対応するための最新商品やサービス、業務効率化のためのツールについて深掘りしました。全国から100名を超える参加者が集まり、大変盛況な研修会となりました。

研修会では、8社の協賛企業が自社の製品や技術、サービスを紹介。プレゼン後の懇親会では、青年部同士や参加企業様との対話・ディスカッションが活発に行われ、現場での課題を共有し合いながら解決策を探る貴重な機会となりました。会場は終始和やかな雰囲気に包まれ、地域や分野を超えた連携や情報交換が積極的に行われました。

「進化する我々が使えるツール」というテーマに沿った充実した内容は、参加者から高い評価を得ることができ、次の課題への期待が膨らむ有意義な研修会となりました。

（寺尾 弘也）



## 岡山県環境整備事業協同組合 令和7年新年会

令和7年1月31日 ANA クラウンプラザホテル岡山

令和7年1月31日、岡山県環境整備事業協同組合は、ANA クラウンプラザホテル岡山にて新年会を開催し、組合員および関係者が集まりました。

開会にあたり、牧理事長が「本年も組合員の皆様とともに、環境整備業界の発展と技術向上を目指し、持続可能な社会の実現を図りたい」と挨拶を述べました。続いて、環境連政治連盟会長で衆議院議員の逢沢一郎氏より、環境政策の重要性や浄化槽の適切な活用についての意見が述べられ、今後の業界発展への期待が寄せられました。

次に、一般社団法人岡山県浄化槽団体協議会理事長の別府洋吾様より、合併処理浄化槽の普及促進や業界の現状について説明がありました。特に、今後の課題である特定単独浄化槽の合併処理浄化槽への転換について、業界が一丸となり汚水処理の向上に取り組むことの重要性が強調されました。その後、専務理事の妹尾氏より、令和7年度の主要行事予定が発表され、2月7日に開催される岡山県合併処理浄化槽普及促進協議会主催の研修会、5月の通常総会、7月の浄化槽管理研修会、10月の全国大会などが紹介されました。

最後に、公益財団法人岡山県健康づくり財団の渡辺知美様の発声により、乾杯が行われました。今年は昭和100年にあたり、大阪万博が開催される節目の年でもあります。発展を願いながら、それぞれの事業の成功を祈りつつ杯を交わしました。

本年も、組合員一丸となって環境整備業界の発展と持続可能な社会の実現に向けて邁進してまいります。

(田邊 拓人)



## 全国環境連中国地区協議会青年部研修会を開催 ～山陰最大の焼却処分場を視察～

令和7年2月21日 鳥取県境港市

全国環境整備事業協同組合連合会（全国環境連）中国地区協議会青年部は、2025年2月21日（金）、鳥取県境港市潮見町にある三光株式会社を訪問し、工場視察を実施しました。

今回の研修では、令和6年8月に稼働予定の山陰最大の焼却処分場「潮見コンビナート10号炉」を中心に視察を行いました。同施設は、廃棄物処理にとどまらず、発電や余熱を活用した養殖場を併設しており、環境負荷を軽減しながら資源を有効活用する最先端の設備を備えています。

また、ウエストバイオマス工場も見学し、下水道汚泥を含む各種廃棄物を活用した処理の仕組みについて学びました。特に、バイオマスから生成される炭化製品は、循環型社会の構築に向けた重要な技術として注目されています。参加者は、足立工場長、有澤副工場長の案内のもと、最新の設備や運用方法について詳しく理解を深めました。

視察後には、「Hatonova 三光丸」にて親睦会が開かれ、山陰地方の海の幸を味わいながら参加者同士が交流しました。業界の課題や今後の展望について前向きな意見交換が行われ、有意義な時間となりました。

当日は寒波の影響で雪が降る厳しい天候の中での視察となりましたが、参加者は熱心に施設を見学し、最新の廃棄物処理技術に触れることができました。

今回の研修は、環境業界のさらなる発展に向けた知見を深めるとともに、青年部同士のネットワーク強化にもつながる貴重な機会となりました。

(田邊 拓人)





令和7年3月12日	全国環境連第6回理事会（東京）
3月18日	全国環境連中国地区協議会第5回執行部会（リモート会議）
3月25日	組合第6回常任会・理事会（組合研修室）
5月2日	令和5年度組合会計監査（組合事務所）
5月9日	組合第1回常任会・理事会（組合研修室）
5月14日	全国環境連第1回理事会（東京）
5月29日	第67回組合通常総会（岡山市）
6月18日	全国環境連通常総会（東京）
6月20日	全国環境連中国地区協議会第1回執行部会・理事会（岡山市）
7月1日	組合第2回常任会・理事会（組合研修室）
7月23日	全国環境連第2回理事会（東京）
7月26日	第61回全国環境連中国地区協議会通常総会・第2回執行部会・理事会（山口市）
8月5日	組合第3回常任会・理事会（組合研修室）
8月20日	全国環境連中国地区協議会第3回執行部会・理事会（リモート会議）
9月17日	全国環境連第3回理事会（東京）
10月7日	組合第4回常任会・理事会（組合研修室）
10月23日	全国環境連臨時理事会（岡山市）
10月24日	第21回全国大会（岡山市）



黒井 充宏

ある日、姉が一枚のカードを見せてくれました。それは、人気アニメのデザインが施されたマンホールカードでした。

マンホールといえば、下水道の点検口など、私たちの業界とも縁のある設備です。私自身も日々の業務で接する機会が多く、以前は近隣市町村のマンホールカードを集めていました。しかし、新型コロナウイルスの流行以降、収集を中断していました。その間に新しいカードが増え、現在、岡山県内では26種類、全国では累計1113種類が配布されています。

マンホールカードのように、水をテーマにしたコレクションカードとしてはダムカードが有名ですが、調べてみると名水百選カードや水の恵みカードなど、他にもいくつか種類があることがわかりました。これらのカードは、水資源や関連設備・施設への関心や理解を深めてもらうことを目的とした広報活動の一環です。また、カード収集をきっかけに各地を訪れてもらうことで、観光振興の役割も果たしています。

私たちは日々、水の恩恵を受けて生活していますが、その重要性を意識する機会は意外と少ないかもしれません。旅行やドライブの際にカードを集めながら、水や自然に関心を持つきっかけとなれば幸いです。

活 動 報 告

令和6年9月26日	全国環境連第3回理事会（東京都）	令和7年1月8日	新年あいさつ （岡山県知事・岡山市長・倉敷市長）
10月1日	第38回全国浄化槽大会（東京都）	1月15日	全国環境連第5回理事会・新春懇談会 （東京都）
10月8日	組合第4回常任会・理事会（組合研修室）	1月17日	西日本高速道路(株)中国支社へ5県合同で 新年挨拶（広島市）
10月24日	全国環境連第20回全国大会（東京都）	1月22日	全国環境連中国地区協議会第4回執行部会 （リモート会議）
10月30日～31日	第38回全国浄化槽技術研究会 （長崎市）	1月24日	（一社）岡山県浄化槽団体協議会第2回検査委員会 （岡山市）
11月3日	児島湖流域清掃大作戦	1月31日	組合新年会・第6回常任会・理事会（岡山市）
11月15日	熊本県環境整備事業協同組合50周年記念式典	2月7日	岡山県合併処理浄化槽普及促進協議会 主催による浄化槽研修会の開催（岡山市）
11月18日	自由民主党岡山県議団へ浄化槽関係の要望書提出	”	組合第2回情報システム委員会
11月27日	全国環境連第4回理事会（宮崎市）	2月19日	（一社）岡山県浄化槽団体協議会第2回コンピューター委員会 （岡山市）
12月5日	（一社）岡山県浄化槽団体協議会コンピューター委員会（岡山市）		
12月10日	組合第5回常任会・理事会（組合研修室）		

編集後記

設立20周年という節目を迎えた全国環境連は、次世代へつなぐための記念事業を実施し、浄化槽の海外展開に目を向ける契機となりました。これまでも浄化槽メーカーや管理会社に取り組んできた事業ではありますが、新たなアプローチとしても注目されています。

また、業界を取り巻く環境は大きく変化しており、次世代の取り組みへの関心も高まっています。本青年部研修会では、業界関連企業との連携を深め、より密接な関係を構築することで、未来に向けた新たな一歩を踏み出しました。

今年、岡山県では15年ぶりに全国大会を担当いたします。先人の知恵と若い世代の力を結集し、持続可能な社会の実現に向けた技術の発展がさらに加速することを期待するとともに、業界全体のさらなる発展に向けて尽力してまいります。